

MyStars 通信

No.33

June 2011



南十字とケンタウルス

2月に石垣島へ行ってきました。My Stars systemに登録されている星もあるのに、写真がないというのも何だかなあ・・・と言うことで撮影に行ってきたわけです。以前にも行ったのですが南十字が写せなかったため再チャレンジです。(30号の表紙)

撮影場所は石垣市の南西部にある観音崎です。海上には航路灯がたくさんあって真っ暗と言うほどではなかったのですが、天候の悪い時期としては十分でした(運良く一晩中晴れました^o^)

石垣島では南十字も水平線からこれくらい上がりますが、初山別からはここに写っている星のほとんどが水平線下になります。ちなみに鹿児島辺りでは、南十字の一番上の星が水平線ギリギリに見えます。リギル・ケンタウルスは太陽系に一番近い星で、距離はわずか4.3光年です。もし新幹線で行ったとしたら、わずか? 1550万年で行ける計算になります。

2011年4月末現在での登録者数は、南十字座39名、ケンタウルス座15名、おおかみ座11名です。

綺羅星・星座ガイド

琴(こと)座

こと座は夏の星座のひとつでわし座、はくちょう座と共に夏の大三角をつくる星座です。こと座になった琴は、オルフェウスの琴で

こと座で一番明るい星は0等星のベガで、一般には七夕の『おりひめ星』としておなじみです。ベガは白い星で大きさは太陽の3倍ほどありますが、距離が25光年と近いので明るく見えています。この星は仙台市付近で真上を通過します。



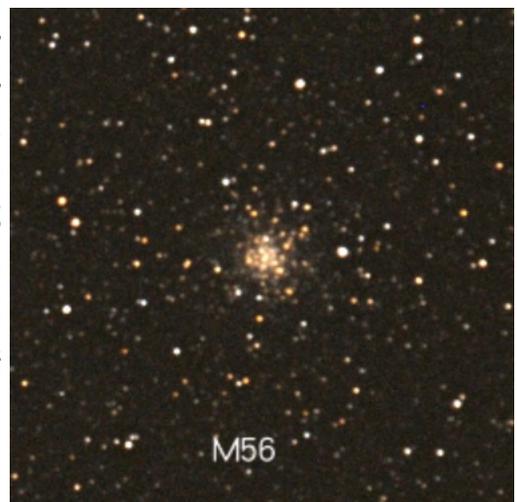
ベガの近くに4等星と5等

星が小さな三角をつくっていますが、その一つベガの東にある (ι^γシ)星を双眼鏡で見ると同じような星が2つ並んで見えます。さらに大きな望遠鏡で見るとそれぞれが2つずつの星からなっているのが見えます。これは二組の連星(互いに周り合う星)で『ダブル・ダブルスター』と呼ばれています。それぞれの星は接近しているの小さな望遠鏡ではひとつの星として、見え分離するのは難しいでしょう。



こと座で見逃せない天体と言えば (ε^γ-η)星と (γ^α)星の間にあるM57で、“リング星雲”と呼ばれる星雲です。これは3万年ほど前に寿命を終えた星が撒き散らしたガスで、今でもゆっくりと広がっています。小さな望遠鏡では丸く見えるのですが、口径10cm以上の望遠鏡で見るとリング状に見え、さらに大きな望遠鏡では卵形のように、黄身の部分が暗く穴があいたように見えます(この姿から“目玉おやじ”と呼ばれています)。また、この中心にはもとの星の名残が暗く光っています。

星と星をはくちょう座の方にのぼすとM56と



いう球状星団（数万から100万個の星がダンゴのように丸く集まった星の集団）があります。小さな望遠鏡ではぼんやりと丸く見えるだけですが、大きな望遠鏡では星がぎっしり集まっているのがわかります。

カシオペヤ座



カシオペヤ座は秋の代表的星座のひとつで、北斗七星と共に北極星を見つける指標として使われます。

カシオペヤは古代エチオピア王家の王妃ですが、見栄っ張りなところがあり、娘のアンドロメダがかわいくて『この世でアンドロメダより美しい者はいない。海神ポセイドンのニンフ（妖精）たちでもかなうまい』とうっかり口を滑らせてしまったのです。そのことを聞いたポセイドンはエチオピアの海岸に化けくじらを放ったため漁民が困り、ポセイドンの怒りを沈めるためにアンドロメダを海岸に縛り生け贄にしたのです。そこへ旅から戻る途中のペルセウスが通りかかり、化けくじら

を退治してアンドロメダを助けたのでした。（めでたしめでたし）

星座の形が北の地平線上にある時は“W”に、頭上高く掛かった時は“M”の形に見えます。カシオペヤ座は天の川の中にあるため星の数は多く、天の川がよく見えるところでは星座の形が見つけにくくなります。

カシオペヤ座から北極星の見つけ方は、Wの両側の辺をのばし交わったところと真ん中の星を結んで、5倍のばしたところに2等星が1個ポツンと光っています。これが北極星です。

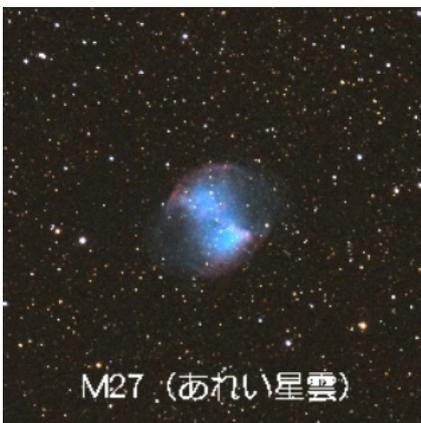
カシオペヤ座は天の川の中にあるため、星座に含まれる星の数は多く星団もたくさんあります。星の数が少なくこぢんまりとしたものが多いですが、ケフェウス座との境界付近にあるM52は見やすい方です。



小狐（こぎつね）座

小ぎつね座ははくちょう座の東側にある星座で、一番明るい星で4.6等星のほかは5等星以下の暗い星ばかりでありあまり目立ちません。星座を結ぶのは難しいでしょう。

小ぎつね座は、最初“狐とガチョウ座”としてつくられたと言います。星座図を見るとなるほどガチョウをくわえた狐の姿が描かれています。



こんな星座なので見るものは何もない・・・わけではなく、M27と言う有名な星雲があります。こと座のリング星雲と同じように、寿命を終えた星が撒き散らしたガスで、形がボディビルで使う鉄アレイに似ているところから“あれい星雲”と呼ばれています。小型の望遠鏡でもだ円形の形がわかります。

蜥蜴（とかげ）座

はくちょう座とアンドロメダ座の間に“とかげ座”と言う小さな星座があります。天の川の中なのでわかりにくいですが、ジグザグに並ぶ星の列があります。星座としてもトカゲというイメージにしてもあまり注目されないため、影の薄い星座です。

5等星以下の星ばかりで特に目を引く星はありませんが、天の川の中と言うこともあり散開星団はいくつかあります。望遠鏡で見やすいものとして

はNGC7243とNGC7209があり、それぞれ40個、50個の星の集団です。



「Mystars通信」の天文図はStellaNavigator9(AstroArts)を使用しています

綺羅星列伝

今回は5遍ご覧ください。皆さんの星物語よろしくお祈いします。お寄せいただいた物語はしょさんべつ天文台にあります。いつでも閲覧できますのでお立ち寄りの際はご一読ください。

星の名前 : Lisa Dixieme

わたしは、2010年6月5日に10才のたん生日をむかえました。そして、その10才の記念にたん生日プレゼントとして、マイスターをもらいました。名前は、「Lisa dixieme」(リサ ディゼイム)。フランス語で「リサの10年」という意味だそうです。フランス語を勉強している母が、そうしようよと言ったのかなあと思いました。ちょうどたん生日に横浜からしょさんべつを訪れて、岬センターに着いたときにその事を聞いたときはびっくりしました。たん生日のプレゼントは何かいろいろ考えていたからです。それが、まさか自分の星だったなんて！ Lisa dixiemeを実さいに天文台で見せてもらったら、はっきりとは覚えていない

のですが、とてもきれいな星でした。星にもう一つ星がかぶっていて赤色で。星のことは北海道に行く前にいろいろ調べていたのですが、さすがにLisa dixiemeは知りませんでした(笑)。でもしょさんべつ天文台にはLisa dixiemeぐらいきれいな星がたくさんあって、まるで夜空のおとぎばなしみたいでした。この空のことは11月の今も、よく覚えています。今、書いたエピソードと、Lisa dixiemeというわたしの星が永遠に残るといのはすごいなあと思いました。そして、未来に科学が進歩したらLisa dixiemeに行ってみたいです。わたしも大人になったらパパやママ、そしてたくさんのお世話になった人にマイスターをプレゼントしたいです。思いをよせて。

星の名前 : Eternity

永遠に、ナオくんを愛し、ナオくんの幸せを願う事を、この星に誓って・・・この星をプレゼントします。

なかなか会えないけれど、離れている時も、私はいつも、ナオくんを応援し、ナオくんの毎日が笑顔でいっぱいであることを願っています。

ナオくんは、私が生涯で愛したたった1人の人だから・・・

いつか、2人に別れの日がやってきて、2度と会う事がなくなったとしても、私は、ナオくんに出会えた事を感謝してるし、

ナオくんを、ずっとずっと変わらずに愛していると思う。

ナオくんの周りには、ナオくんを愛している人、ナオくんを大切に思っている人が、沢山いるけれど、もし、いつかナオくんが、一人ぼっちになったような気持ちになった時は、この星を見て、私が変わらず、ずっとナオくんを愛し、ナオくんの幸せを願っている事を思い出してね。

2011年2月14日

・・・この星に変わらぬ愛を込めて・・・

星の名前 : M.boshi

突然、君が逝ってしまった夏。新聞のコラムで読んだ「初山別」が忘れられなくていつか君の名をつけたいと思っていた。秋、友達を訪ねた十勝での星空のナイトツアー。
沢山の星を見て、若かったあの時、二人で見た夜空を思い出した。
20才の時みんなで行った海のキャンプ。
二人で砂浜に寝転んで見上げた夜空の沢山の星。圧倒されたね。
今はあの星々の中に君がいる。
札幌ではあんなに沢山の星は見えないけ

ど、見上げた空には君がいる。そう思いたい。
夜遅くなった時の帰り道、つい立ち止まって空を見る。
星がでてるとなんだかとてもうれしくなる。でも、涙があふれそうになる。
登録日は30回目の結婚記念日。いつか初山別の空を見に行こうと思っている。
本当は、二人で名前を考えて二人で初山別に行きたかったね。君に会いたい。

星の名前 : Star of Isamu Yosie

10数年前からこのマイスター綺羅星のことを知りつつも、訪れたくていたのですが・・・行かなければ登録できないとずっと思っていて、いつかきっと・・・と思っているうちに月日が流れてしまいました。最初は、天文台の黒田さんの事を知り電話して行く方法を知ったのですが、色々なことに振り回されているうちに今日になりました。
行かなくても登録出来ることを知りさっそく登録。自分の願いがやっとかないま

した。いつも行きたい、今年はきっと行くと言っていた夫が昨年亡くなり、その日を私達夫婦の登録日にし、名前も夫と私のそのまま名前で登録しました。長い月日に子供達も訪れて、私達の星を知って見に行ってくれることを願いつつ。
長い間の夢をかなえてくれた初山別天文台の方々、又、初山別村役場の方々に本当に感謝します。
ありがとうございました。

星の名前 : NORI & JUN

夜空の星に興味を持ち始めて二人で競い合って星を覚え夜空を眺めていました。美里天文台、大塔コスミックパーク、佐治アストロパーク、六甲山NTT天文台、六甲山の荒地山や生石高原での星観測、いろんな所に星を見に一緒に行った彼女が僕にこの星をプレゼントしてくれました。

最初に覚えたオリオン座の星たち、それからたどる昴までそこにある牡牛座の中の星の一つ、いつまでも二人の想いでにと・・・いつか二人で初山別天文台に行くことを夢見て・・・

こちら情報室

天文情報（6月～11月）

流星・彗星

8月13日を中心にペルセウス座流星群（7/20～8/20）

活発な流星群の1つで、多いときは1時間で50個以上見られます。今回は満月過ぎの月が明るいのであまり条件は良くありませんが、明るい流星も多いのであきらめず見てみましょう。10日から15日が多く見られます。

10月8日から9日未明にかけてりゅう座流星群

2012年に母天体（ジャコビニ・チンナー彗星）が戻ってくるので、多くみられるかも知れません。

11月18日未明にしし座流星群（11/5～11/25）

しし座に下弦前の月がありやや不利ですが明るい流星も多いです。

彗星を見よう

9月下旬から10月上旬の明け方、本田・ムルコス・バジュサコバ彗星が7等級に、8月から10月の夕方、ガラッド彗星が8等級になり、それぞれ双眼鏡で見ることができるよう。ガラッド彗星は来年2月には6.5等級まで明るくなる見込みです。

日食・月食・星食

6月2日の早朝、北海道・東北・北陸で軽微な部分日食が見られます。同じく16日には西日本で沈む皆既月食が、東日本・北日本では沈む部分月食が見られます。

惑星

水星：9月3日と12月23日は明け方の東空で、7月20日と11月14日は夕方の西空で最大離隔となり見やすくなります。

金星：8月15日に外合（太陽の向こう側を通過）し夕方の西空にありますが、地平線からの高度は低く今年あまり条件は良くありません。

火星：今年観望に適しません。

木星：10月29日におひつじ座で衝（地球に接近）になり、秋から来年春まで見やすくなります。

土星：8月まで夕空に見えますが、10月2日に合（太陽の向こう側）になり、以後明け方の空で見えます。

天王星：9月26日にうお座で衝になります。

海王星：8月23日にみずがめ座で衝になります。

第20回しょさんべつ星まつり

日時 : 2011年7月30日(土)

会場 : しょさんべつ天文台

主な内容

ペットボトルロケットの製作と発射大会

天文 × クイズ大会

天体観望 ほか

内容はホームページ等でご確認下さい。



~~~~~  
[連絡事項]

住所・氏名が変更になりましたらご一報ください。星物語はいつでも募集しています。郵便、E-mailどちらでも受け付けますので、お気軽にどうぞ。

「My Stars通信」の送付について、登録番号8715までの方は次号よりホームページ上でご覧ください。なお、インターネット利用環境のない方につきましては今後とも郵送することで考えておりますので、希望者にはご一報いただきたく願います。

~~~~~

[編集後記]

2011年4月末現在の登録者数は8715名です。

今年の星まつりは7月30日に行います。近くにお越しの際はお立ち寄りください。今年の前半はあまり目立つ天文ショーはありませんでしたが、後半は流星や彗星が見られそうです。

去年は太陽活動が極小になりました。そのためかこの冬から春にかけて気温の低い日が多かったようです。寒さが続く中、3月10日に東北沖で史上最大級の地震が発生しました。地面の揺れと大津波により多くの方が被災され、追い打ちをかけるように原発破損による放射線被害、電力不足と大変な被害が出ました。被災された方には謹んでお見舞い申し上げます

(K)

編集・発行 しょさんべつ天文台 〒078-4431 北海道苫前郡初山別村字豊岬153-7

天文台ホームページ URL=<http://www.hokkai.or.jp/shosanbe/index1.html>

E-Mail 教育委員会 shkyoiku@saturn.plala.or.jp

しょさんべつ天文台 shosanbe@hokkai.or.jp